

情報モラル指導ガイド
携帯電話に潜む問題点とその対策指導

題材名	道徳教材「持ち込んでしまったケータイ（ケータイ使用のエチケット）」				
校 種	小 中 高	対象学年	2 年	学習場面	時期：随時 時間：50分
概要	近年普及した携帯電話を取り上げながら，基本的なモラルについて考えさせる。				
本時のねらい	(1) 学校での生活やけじめを意識させながら，自分の行動について振り返らせ，誠実な対応や反省が，自身を高めていくということに気づかせる。				
準備物 (活用コンテンツ) (ワークシート)	(1)自作教材「持ち込んでしまったケータイ（ケータイ使用のエチケット）」 (2)ワークシート (3)マナーモードのある携帯電話（必要に応じて）				
実践のポイント	(1)子どもたちの生活の中にも深く関わりつつある携帯電話。しかし，家での生活や，学校でのけじめのもと使用する必要がある。「はまって」しまう傾向があり，便利なことの裏返しに，生活に与える影響が大きい。中学生がすべきこと，人との行動でしなければならないことは従来と変わらないことを理解させたい。				
【学習の流れ】					
学習段階	児童・生徒の学習活動		指導上の留意点・活用コンテンツ等		
導入	<p>学校にいろんなものを持ち込んで，しまった経験を話し合う</p> <p>学校に持ってきてだめなものは何だろう。</p> <p>遊ぶもの。必要のないもの。</p> <p>学校で禁止されているもの。</p>		臆せず，発表できる雰囲気作りを心がける。		
展開	<p>「持ち込んでしまったケータイ」を読んで話し合う。</p> <p>アヤは最後までどのようなことを書いたと思いますか。</p> <p>わたしがしましたすみません。</p> <p>タカアキ君は悪くありません。</p> <p>やっぱり書かないと思う。</p>		どうすべきか，考えさせた後，自分が，なぜそのように書いたか真剣に振り替えさせる。		
まとめ	<p>携帯電話を持った場合の自分の生活について話し合う。</p> <p>普段の生活の中で気をつけるべきことは何か？</p> <p>けじめを付けて使用する。</p> <p>学校の生活が基本であり，影響がないようにする。</p>		携帯が身近にある生活についてしっかり考えさせる。		